

都市再生の最近の動向

1. 都市再生安全確保計画 作成の手引き改正について

- 都市再生安全確保計画は、大規模な地震が発生した場合における都市再生緊急整備地域内の滞在者等の安全の確保を図ることを目的とした計画である。
- 国土強靱化年次計画 2019 において、「新規計画の作成及び PDCA サイクルの実施数」を KPI と設定したこと等を踏まえ、計画の定期的な検証に向けたマネジメントを実施すると共に、計画の高度化に向けた手引きの改正を図る。

2. i-都市再生について

- 令和元年5月に公表した、様々なデータを地図上に可視化するためのデータ形式（技術仕様）「i-UR1.0」を踏まえ、更に機能拡張及び普及していくため、公募型モデル調査により 12 の取り組みを選定し、支援している。
- i-都市再生をまちづくりの現場で活用していただくため、自治体等交流会議（<https://youtu.be/YDax4dqD6x8>）を実施し、100 程度の活用事例が生まれている。

3. 未来技術社会実装事業について

- 地域における Society5.0 の実現に向け、地方創生の観点から優れた自治体の未来技術を活用した取組について、各種交付金・補助金の支援や、実装に向けた現地支援体制を構築など、関係省庁による総合的な支援を実施している。
※現在 22 事業（H30 選定：14 事業、R1 選定：8 事業）を支援
- 令和 2 年度より、地方創生推進交付金（1,000 億円の内数）に Society5.0 タイプを新設し、未来技術を活用した社会システムづくりの全国的なモデル事業を支援する。